



プライバシーに関する当社の見解

Verkada Guestセキュリティス クリーニングの詳細



当社は、訪問者管理を簡素化すると同時にお客様のセキュリティ対策を強化するために、昨年11月にVerkada Guestをリリースしました。Guestを使用することで、お客様は建物、学校、施設への訪問者をより適切に管理できるようになります。

Guestの導入により、お客様のセキュリティ手順が大幅に改善されたとお声をいただき、非常に嬉しく思っています。また、機能に関するご要望など、お客様からの素晴らしいフィードバックもいただいています。教育機関のお客様からいただくご要望で最も多かったのは、Verkada Guestキオスクで訪問の受付をする人が、性犯罪者データベースに登録されているかどうかをスクリーニングする機能でした。この新しい[セキュリティ画面機能](#)は、プライバシーを尊重しながら人々を保護するという私たちの使命に基づいていると信じています。

Verkadaがこの機能についてどのように考え、どのように製品に組み込むことにしたのか、また、Commandのユーザーと保護対象施設への訪問者の両方に対してプライバシーとセキュリティを確保するために何をしているのか、その背景を少し説明したいと思います。

選択性の機能

まず、登録性犯罪者のスクリーニングはほとんどのVerkadaのお客様にとっては必須の機能ではないことがわかりました。ただし、学校、保育園、青少年団体などの一部の組織では、施設内への入場や子どもたちと接触する機会に訪問者に対する追加のスクリーニングが必要な場合があります。を有効にし、セットアップ中に特定のゲストタイプ（「訪問者」など）に適用できるようにしました。こうすることで、一部の訪問者にだけ操作を求める画面が表示され、それ以外の訪問者には表示されないよう設定できます。

同意確認

私たちは、個人情報の収集と使用について訪問者に適切な説明を行い、その使用について訪問者から同意を得ることを非常に重視しています。そのため、次の画面でスキャンを実施することを訪問者に必ず説明していて、本人確認書類をスキャンする前に訪問者が明示的に同意するようになっています。

登録性犯罪者

訪問者が同意すると、Verkada Guestキオスクを使用して政府発行の本人確認書類*を撮影します。次に、Verkada Guestは、米国の運転免許証から訪問者の氏名と生年月日を抽出してAPI経由でサードパーティのデータベースプロバイダに送信し、登録性犯罪者のデータベース上で一致する記録がないか検索します。当社のサードパーティデータプロバイダは、地方自治体レベルおよび州レベルの米国登録性犯罪者データベースの情報を集約しています。基本的に、このデータセットは毎月更新されています。

人が介入する認証手続き

また、Verkadaは、自動化された結果のみに依存することは避けたいと考えています。人が介入する認証手続きでは、データベースに同一の名前があると思われる場合に、指定されたフロントデスク担当者にその旨を通知して確認を依頼します。管理者用画面には、訪問者の氏名と政府発行の本人確認書類のスキャン画像が表示され、その隣にはデータベースとの一致が疑われている名前、生年月日、写真（登録がある場合）が並びます。データと訪問者が同じ人物であると管理者が判断した場合、入場を拒否するか、組織の規則で定められた対応を採ることができます。Verkada Guestは、判定の際に顔認識などの自動画像マッチングを使用していません。



データ保存

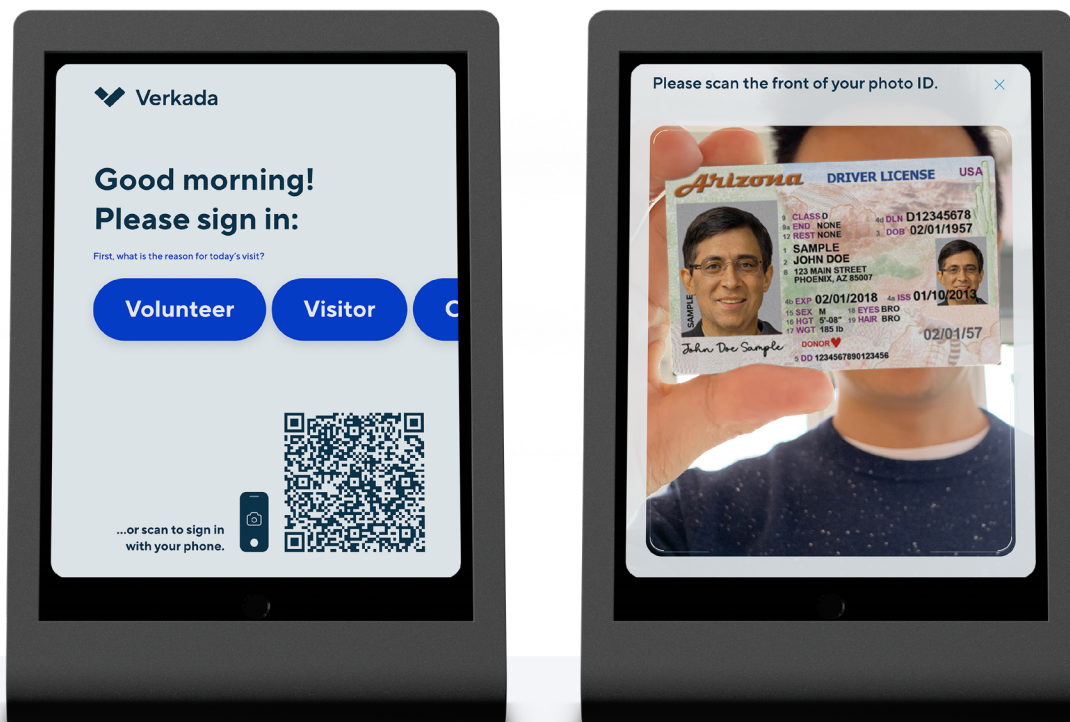
一致するデータが見つかった場合、そのデータ（氏名、生年月日、本人確認書類のスキャン画像）は、組織管理者がセットアップ時に定義した設定に基づき、Verkada Guestシステム内に最大90日間保存されます。データと情報が一致しない大半の訪問者については、スキャンした氏名、生年月日、本人確認書類の画像を判定後すぐに当社のデータベースから削除します。当社のサードパーティプロバイダでは、このデータは最大24時間保存され、その後そのプロバイダのシステムから消去されます。

データのセキュリティ

取得・保存されるデータは、それぞれの組織によって異なります。Verkadaのプラットフォームに保存されるすべてのお客様のデータと同様に、Verkada Guestのデータがほかのお客様と共有されることはありません。また、Guestやその他のVerkada製品で取得した生体認証情報や画像データを、性犯罪者リストの照会には使用することはありません。取得されたすべてのデータは、転送と保存の際に暗号化されます。当社のデータプロバイダには、契約上のデータセキュリティとプライバシーのガイドラインが適用されます。

データのプライバシー

訪問者が本人確認書類のスキャンに同意すると、生年月日と氏名のみが抽出され、一致する可能性のある情報を検索するためにサードパーティのデータベースプロバイダに送信されます。当社は、登録性犯罪者データベースと照合するために、Guestやその他のVerkada製品が取得した生体認証や画像データを使用しません。



Verkadaは、Guestを使用しているお客様にこの新機能を提供できることを嬉しく思うとともに、今後もお客様のご意見に積極的に耳を傾け、より良いサービスを開発していきます。

*州発行の本人確認書類がない個人に対するサポートは、今後のリリースで利用可能になる予定です。